

平成 20 年度 学校 評価

県立厚木高等学校長

学校目標	取組の内容		校内評価		外部の意見	学校評価
	具体的手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善の方向等		
生徒の意欲的学習を引き出す指導の確立	基礎学力の定着と発展的な学習効果に応じた教育課程の改善	改善ができたか	・平成21年度から新教育課程に移行	・新学習指導要領を踏まえさらなる改善	(学校評議員等) ・教育課程変更のねらい、新教育課程のポイントは何か。 ・生徒による授業評価で、「満足感」が低いように見える。独自の分析が必要ではないか。 ・教科を超えた相互授業参観は実質的にどの程度まですすんでいるのか。新採用も多くなる状況でもあり、授業力向上のため今後も一層取組んで欲しい。 ・宿泊オリエンテーションについては、実施する前の生徒と実施した後の生徒の違いを明示すればより効果がわかるのでは。	①進路の多様性に対応した『新教育課程(平成21年度より実施)』を完成した。 ②授業改善のため、教科を超えた相互授業参観を実施した。 ③新入生宿泊オリエンテーションの継続と、今年より、サマーセミナーも実施することができた。 改善の方向性 ・習熟度別小集団授業の導入 ・授業力のさらなる向上力のため、研究授業や教科会での研修を綿密なものとする。
	生徒による授業評価を活用した授業改善	取り組みが実施できたか	・年2回実施し、教科を超えた相互授業参観などを実施	・研究授業や教科の打ち合わせの綿密化		
	2学期制に即した定期試験の時期の検討	検討・改善ができたか	・前期と後期の授業時数が均等に近づくよう実施時期を変更	・学校行事も勘案した前後期授業時数の一層の均等化		
	履修と修得の関係や評価のあり方の検討	検証・改善ができたか	・履修は授業の実時数との関係とし、評価は、観点別評価の取り組みについて具体的な評価規準を策定	・さらなる評価のあり方の検討が必要		
生徒一人ひとりの環境・状況に即した支援・指導	基本的な生活習慣の確立を図る、服装・遅刻指導等の実施	基本的な生活習慣の確立を図れたか	・全職員による登下校指導の実施 ・校規委員、職員の協力で行う遅刻調査の実施	・服装等、継続的な指導、助言が必要	(学校評議員等) ・自転車のマナーやルールなどは、地域の連携を一層深める等の方法も考える必要が有るのでは。 ・事故が少ないということだが、起こった後の対症療法ではなく、未然防止にも力を入れることが大切なので、その方法の模索もすすめて欲しい。 ・心のケアを必要とする生徒の対応の充実が必要では。	①全職員による登下校指導(年7回)、校規委員協力による遅刻調査(年2回)が実施できた。 ②校規委員による『いじめアンケート』を実施した。 改善の方向性 ・スクールカウンセラーの来校日(時間)の増加 ・交通ルールの遵守・マナーの向上・服装等の日常的な指導の継続
	生徒の自立育成を目指した、適切な指導・相談の実施	自立の支援ができたか	・定期的な校規委員会による規範意識の醸成 ・保健委員、校規委員による各種大会等への参加 ・校規委員会による『いじめアンケート』の実施	・教員の指示待ちから、生徒の自主的な活動への転換が必要		
	保護者、外部機関との連絡による個別支援体制の充実	状況に即応した相談・支援ができたか	・スクールカウンセラーによる相談の実施 ・生徒の状況に応じた外部機関への紹介、連携	・スクールカウンセラーの来校日(時間)の増加が必要		
	交通安全指導等による安全教育、危機回避能力の育成	育成する指導が出来たか	・各部部长への危機回避プリントの配布等、指導啓発の実施 ・不審者情報の随時伝達・注意喚起の実施	・交通ルールの遵守・マナーの向上等、日常的な指導が必要		

学校目標	取組の内容		校内評価		外部の意見	学校評価
	具体的手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善の方向等		
生徒の自主的活動の支援	新入生歓迎会、部活動紹介、戸陵祭、球技大会の自主的運営	自主性に配慮した行事が実施できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生の歓迎を優先にした新しい歓迎会を実施 ・戸陵祭基本構想に基づき、事故や怪我のない体育祭・文化祭を実施 ・文化祭入場者数2日間のべ6,010名 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚木高校にふさわしい行事内容の検討 	(学校評議員等) ・本校の良さである自主自立の校風を残してほしい。 ・図書室の利用状況を具体的に知りたい。	①戸陵祭基本構想に基づき、無事故の体育祭・文化祭を実施できた(文化祭入場者のべ6,010名)。 ②『部活動の合宿および土日の練習時間規定』を作成し、生徒の学習の機会の確保に努めた。 (改善の方向性) ・厚木高校にふさわしい行事内容の検討 ・長期休業中の補習と部活動のあり方の検討 ・図書室の有効活用を図る
	生徒会組織の自主的運営	自主的運営がされたか	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートやメール目安箱により生徒のニーズに対応した生徒会活動を展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般生徒の生徒会活動に対する意識高揚 ・生徒会費・派遣費の検討 		
	ボランティア活動の生徒による検討	検討・実施できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根募金・足なが募金の他ペットボトルキャップボランティアを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会と連携したボランティアの検討 ・防災ボランティアの検討 		
	教科学習活動や学級活動と均衡が取れた、節度ある部活動の取り組みへの支援	支援できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の日を設け部活動の振り返りアンケートを実施 ・合宿規定を作成 ・土曜日、日曜日の部活動時間の規定を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業期間中の補習と部活動のあり方の検討 		
	生徒、職員にとって利用しやすい図書室運営	運営がなされたか	<ul style="list-style-type: none"> ・購入図書の表紙を掲示 ・新聞に載った厚木市の記事を掲載 ・各クラスに購入リストを掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の返却率の改善 ・書架のより一層の整理整頓。 		
生徒一人ひとりの適性、能力に応じたキャリア教育の推進	キャリア教育実践プログラムに則った生徒支援を行うため、学年と班の連携強化	適切なキャリア教育が出来たか	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年と連携をとり、当該学年の担当者を中心に生徒支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・LHRの計画的利用の検討 	(学校評議員等) 模擬試験を実施した後の結果の活用が課題では。生徒へ試験結果を連絡するだけでなく、どのように授業改善に繋げるのか模索して欲しい。	①卒業生による進路懇談会を実施した。(1・2年対象:夏季休業中9大学9名来校) ②長期休業中に、多くの発展・基礎両分野の講座を開設できた。(夏季40講座、冬季12講座 約700名の参加) 改善の方向性 ・長期休業中、教科としての学年別講座設置の検討 ・卒業生による進路懇談会の参加大学と講演内容のさらなる充実 ・模試結果の『進路のしおり』への活用方法の検討
	進路指導のより一層の充実					
	・卒業生等を活用した進路講演会の実施	実施できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業を利用し、1学年を対象に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加してもらう大学と講演内容の精選 		
	・全学年を対象とした全国模試の実施	模試結果を効果的に活用できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・模試結果の周知と学年による指導。また面談時の資料としての活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路のしおりへの活用方法の検討 		
	・補習、講習の講座数の増設	生徒のニーズに応じた指導ができたか	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業を利用して、発展的、基礎的分野の講座の設置により約700名が参加(夏期講習40講座、冬期講習12講座) 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降、教科としての学年別講座の設置のあり方の検討 		

学校目標	取組の内容		校内評価		外部の意見	学校評価
	具体的手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善の方向等		
地域社会に開かれた学校づくりの推進	学校ホームページや情報冊子の有効活用の推進	推進ができたか	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目の更新作業の実施 ・HPを通しての広報活動の推進 ・情報冊子の有効活用 	・さらなる有効活用の推進	(学校評議員等) HPはかなり改善されたと感じているが、より一層の努力をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ①学校説明会は、校内では8月・11月、計約1,000名の参加があった。また、今年度より校外の2会場で、説明会を開催することができた。 ②中学生対象の体験授業で、約120名参加があった。 改善の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを通してさらなる広報活動の推進
	「学校へ行こう週間」等、中学生や保護者、地域の方々を対象として授業等の公開	組織的に連携できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・校内、校外での学校説明会の実施(校内8月・11月 計1000名参加) ・学校へ行こう週間等での地域との連携 ・中学生や保護者等への授業等の公開の実施(中学生体験講座 約120名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日程や会場の設定等の検討 ・さらに、地域等と組織的に連携をしていく ・更なる広報活動の実施 		
学びを支援、快適で安全な教育環境の整備	施設設備の整備、充実、特に休業中の講習室の整備、自習室の充実	施設設備の改善ができたか	施設設備の改善はある程度達成した 自習室の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化への対応 ・自習室の暖房設備 	(学校評議員等) 厚木市の総合防災訓練については生徒の参加もお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ①自習室に専用の机を設置するなど施設が充実。 改善の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化への対応 ・学級活動における環境教育の検討 ・地域と連携した防災避難訓練のあり方の検討
	ゴミの分別、水質検査等を通しての環境教育の推進	環境改善の意識が向上したか	日常の清掃活動や行事を通しての環境教育の実施	・学級活動における環境教育のあり方		
	帰宅班の編成や避難訓練を通しての防災教育の推進	防災への意識が向上したか	帰宅班の編成、防災避難訓練の実施	・地域と連携した防災避難訓練のあり方の検討		